



ほ、元み

《病院理念》

私達は院是「誠」の医療を推進いたします

- 1. 私達は他人の為に尽くして感謝しよう
- 1. 私達は自分の力で伸びて行こう
- 1. 私達は私達の規則を尊重しよう



《基本方針》

- 1. 地域に根ざした病院として、安心できる医療提供に努めます
- 1. インフォームドコンセントを徹底し、患者様の選択を尊重した医療をめざします
- 1. 患者様のプライバシーを尊重いたします
- 1. 知識と技術の向上に努め最善の医療をいたします
- 1. 優しさ思いやりを大切に心のこもった公平な医療をいたします

消化性潰瘍とピロリ菌

— 内視鏡検査を受けて胃癌を予防しよう —

外科・胃腸科部長 太田 和美



◎診察日
【外科】
 月・火・木曜日
 午前8時45分~12時
 ※火曜日は予約制
【胃腸科】
 月・木曜日
 午前8時45分~11時30分

潰瘍を発生しやすくさせるといわれています。

《消化性潰瘍の症状は?》

最も多いのはみぞおちを中心とする上腹部痛

です。その半数近くは空腹時の痛みを

自覚しています。出血が多量にあると吐血や下血などの症状が現れてきます。

また、穿孔(潰瘍が深くなつて穴が開いた状態)が起こると激しい腹痛がお腹の広い範囲で起こつて発熱もみられます。出血や穿孔の場合は緊急に処置を必要としますので、このような症状が現れたら大至急受診することが必要です。

70%くらいはピロリ菌の感染によって発生する慢性胃炎の人に発症します。これは胃粘膜の上皮細胞がピロリ菌の毒素によって障害されて、胃酸や他の消化酵素によって消化されてしまうからです。このようなピロリ菌が原因で起こる胃炎が進んだ状態を慢性萎縮性胃炎といいます。したがって、慢性萎縮性胃炎を背景に起こつた胃潰瘍の場合、胃癌が発症する頻度も高くなるといえます。

《消化性潰瘍の診断》

自覚症状やバリウムを用いた胃透視、内視鏡検査(胃カメラ)により診断します。しかし、本当に潰瘍があるのか、治療が必要な潰瘍なのか、癌ではないのかなど正確な診断をするためにはやはり内視鏡検査が必要です。目で見え判断するだけではなく、組織の一部を採つて(生検)顕微鏡で検査(病理診断)することで、癌ではないかどうかを判断することもあります。

《消化性潰瘍の原因は?》

消化性潰瘍とは胃や十二指腸の粘膜に深い傷がつくことによつて起きる病気です。できる場所によつて、胃潰瘍、十二指腸潰瘍とも呼ばれます。昔はその原因として、ある種の薬(非ステロイド性抗炎症薬など)やストレスによるものが多いとされてきました。しかし近年、日本での消化性潰瘍の原因はピロリ菌によるものが大部分となつています。

昔から食事や生活習慣と消化性潰瘍の関連もいわれています。厳しい食事制限は必要ありませんが、カフェインや香料などの多量摂取や大量飲酒は避けたい方が良いでしょう。また、喫煙についてはピロリ菌の感染がある場合などで

《消化性潰瘍とがん》

消化性潰瘍とがんは全く違う病気です。潰瘍から癌になることはありません。ただ、胃癌が進行すると潰瘍を作



〈ピロリ菌の診断〉

内視鏡を用いる検査法と内視鏡を用いない検査法があります。

内視鏡を用いる検査法では、内視鏡検査の際に胃の組織の一部を採取してピロリ菌感染の有無を判定します。

内視鏡を用いない検査法には①血清抗体法・尿中抗体法②便中抗原法③尿素呼吸気試験があります。①は感染の有無を調べるとき、②、③は除菌治療後の効果判定によく用いられます。

胃潰瘍かなと思われる症状を自覚したら、内科や胃腸科など消化管の病気を扱う科を受診して、内視鏡検査を受けて、胃潰瘍や慢性胃炎の有無を診断します。その上で、必要と判断されたらピロリ菌の検査を受けます。

〈ピロリ菌によって生じた消化性潰瘍の治療〉

出血がある場合には止血治療をまず行います。穿孔があれば、手術で穿孔部をふさぐことが必要です。

それらの治療が一段落したならば、ピロリ菌の除菌治療を始めます。

ピロリ菌の除菌治療は、酸分泌抑制薬と抗菌薬(2種類)をセットにしたものを1週間内服することで行います。胃潰瘍では治療開始から8週間、十二指腸潰瘍では治療開始から6週間、酸分泌抑制薬による潰瘍治療を追加することが認められています。除菌の効果判定は前述のピロリ菌検査によって行います。そして、潰瘍の治癒を内視鏡検査で確認することも必要です。それは、胃潰瘍の場合まれに胃癌に伴う潰瘍である可能性もあるからです。いろいろな原因で除菌に失敗

することもあるので、除菌の効果判定は必ず受けることが肝心です。除菌が不成功であった場合の消化性潰瘍の再発は60〜70%あるといわれています。ちなみに除菌成功後の消化性潰瘍再発率は3%程度ですが、非ステロイド性抗炎症薬の服用やピロリ菌の再感染による場合があります。ピロリ菌の再感染率は1〜2%あるといわれています。ですから、消化性潰瘍の治療後も定期的な内視鏡検査は大切です。

また、現在では消化性潰瘍がなくても慢性胃炎があつてピロリ菌が検査で証明されれば、除菌治療することが認められています。

消化性潰瘍の症状を自覚した場合はもちろんですが、症状がなくても定期的に内視鏡による検診を受けることは大切です。そうすることで胃癌にかかるのを防ぐことにもつながります。



耐性菌を増やさないために できること

感染管理認定看護師 宮内 雅文

昨今、医療技術の進歩により様々な疾患が治療できようになっていきます。治療といえば薬物療法が身近ですが、皆様、処方していただいた薬はすべて飲みきっていますか？熱や咳などの症状が治まったからといって自己判断でやめたりしないようにしてください。

なぜなら薬の誤った服用は症状の悪化や治療の長期化につながってしまうからです。特に抗菌薬は途中でやめてしまうと細菌がかえって強くなってしまいういわゆる「薬剤耐性菌」となってしまう。

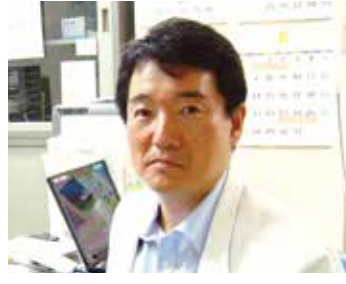
近年MRSAなどに加え新たに発生した薬剤耐性菌が世界中で問題になっています。また日本国内での発生など新聞・テレビ等で耳にされたことがあるかと思いますが、このような薬剤耐性菌ができること、今までの薬が効かなくなり重症化するケースが増え、医療機関内での流行につながります。また医療機関内だけでなく、医療機関外での薬剤耐性菌も増加しているのが現状です。

抗菌薬の効果を得るためには

- ① 指示された服用方法・時間を守る
- ② 指示された服用量を守る

眼の健康のためにも日頃の健康管理が大切

眼科医長 木村 徹



◎診察日【眼科】
●月～金曜日
午前8時45分～12時
※午後：予約制(検査・処置)
：火曜日(手術)

「血圧が高い、血糖が高い、コレステロールに気をつけて」といわれているけれど、自分では調子が悪いとは思わないし、まあいいかななんて方も多いのではないのでしょうか。

実は、目にも非常に関係が深いのです。年々医療検査機器の進歩に伴い、詳細な組織の観察が可能となり、それにより病態解明が進むことで新たな概念や診断、治療方法が生まれています。

眼科領域では、OCT(Optical Coherence Tomography：光干渉断層撮影)により網膜組織(見るために大切な神経組織)や、より深部の脈絡膜の観察までもが可能となり、さらに近年、OCT-Angiography(OCT-A)という機器により、特に全身と関連深い血管(網膜毛細血管や新生血管など)の病態までもが、外来で容易に描出され観察できる時代になろうとしています(ただし、まだ普及はしておらず、当院ではOCTを使用)。

以前より高血圧・糖尿病・脂質異常症などが網膜毛細血管を含め全身の血管の変化や障害を来し、更なる病気へと波及することは分かっています。網膜・脈絡膜の血管が大きく関与する身近な眼疾患としては糖尿病網膜症、網膜動脈・静脈閉塞症、加齢黄斑変性症等々が挙げられ、どれも視力・視野に重篤な影響を及ぼします。

糖尿病網膜症を例に挙げれば、高血糖により①正常な代謝や生理活性因子の異常を引き起こして血管の構造と機能破綻を起こし血管透過性(血液成分の漏出)を亢進させ、②血管の内皮細胞を障害することで、微小血栓をつくり血管を閉塞させ、③網膜の虚血により新生血管(網膜浮腫や出血、増殖膜の原因になる)が発生し、結果、視力・視野異常を来します。OCT-Aはそれを裏付けています。

新たに病態が解明されても難治性疾患であることには変わりありません。そこで如何に病気を防いであげるか、または進行を予防するかが重要になります。

その為には、日頃から血圧・血糖・コレステロールなども含め、全身の健康管理をすることで目の病気の発症予防・進行予防に役立てることが大切です。

いつまでも、よりよい視力・視野を維持するために、病気の発症予防・進行予防に目を向けてはいかがでしょうか。

③ 指示された服用期間を守る(自己判断でやめない)以上3点に注意してください。医師からの指示に従って正しく飲むことが症状を緩和する近道になります。

また病院内においての薬剤耐性菌対策として具体的に

① 耐性菌を保菌していない患者に拡げない
② 患者への抗菌薬使用を適切に管理する
といったことが挙げられます。①については、ICCT(感染対策チーム)が中心となって、施設内の感染対策や連携施設間での情報共有を行っています。②については、感染症を発症した患者が適切な抗菌薬治療を受けているか否かを専門的に監視・管理し必要に応じて処方医へ支援を行っています。

現在当院でも抗菌薬適正使用に対する取り組みとしてICCTによる院内ラウンド等を行っています。

抗菌薬を適正に使うことで、耐性菌の蔓延防止と医療費抑制の両立が可能になることは様々な施設で研究されており、感染症の早期診断、適切な抗菌薬の選択、耐性菌を拡めない感染対策を行うことで結果的に感染症対策における費用対策効果の向上につながるということがいわれています。

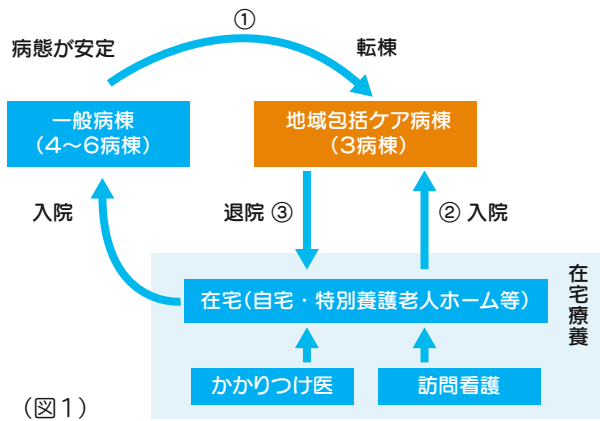
当院ICCTのメンバーは医師・感染管理認定看護師・臨床検査技師・薬剤師・事務職で構成され、安心・安全な医療が受けられるように情報共有を行い、院内ラウンドや感染対策における地域連携等を通じて医療経済の効率化と医療の質向上に向けて活動しています。何かお困りのことがあれば遠慮なくご相談ください。

(連絡先：感染対策室 担当 宮内 PHS 23220)

地域包括ケア病棟とは

医事課 課長 佐々木 秀典

地域包括ケア病棟は2014年に診療報酬改定で新設されました。同病棟の役割(図1参照)



- ① 急性期治療を終えた患者の継続的治療やリハビリを中心とするポストアキユート
- ② 在宅や介護施設で療養している患者の急性増悪を受け入れるサブアキユート
- ③ 在宅復帰支援

当院では、2015年9月より地域のニーズに応えるために地域包括ケア病棟と一般病棟を組み合わせる形を選びました。

対象患者さまについては、当院或いは他院において一般病棟に入院されている患者さまで、急性期治療が終了し在宅までの準備として60日以内に在宅復帰できる患者さまを対象に、当該病棟へのご案内をさせて頂いております。

また、在宅療養中で医学的処置が必要な患者さまの一時的な入院も当病棟にて行っています。

入院中には必要な治療に加えケアマネジャーやソーシャルワーカーが中心となつて在宅での生活を見据えたサービス提供の準備も行います。

入院費については入院料が一日あたり定額となり、その中に投薬、注射、検査、レントゲン、処置、リハビリ等の費用は含まれます。

当院に入院された患者さまが安心して在宅復帰できるように、関係スタッフが全力でバックアップができる体制を取っていますので、安心してご利用ください。

平成29年度 看護部発表会

今年で8回目になる看護部発表会が平成29年6月3日(土)に開催され、111名の参加がありました。

今年も各部署からのバザーが催され、手作りのお弁当やパン、スイーツなどが販売され好評でした。

また、訪問看護の現状やリウマチ外来の紹介、6病棟の取り組み、ICU報告の発表がありました。

看護師長、新人看護師も一緒に技術チェックレースが行われ、看護部のコミュニケーション・活性化に繋がるイベントとなりました。



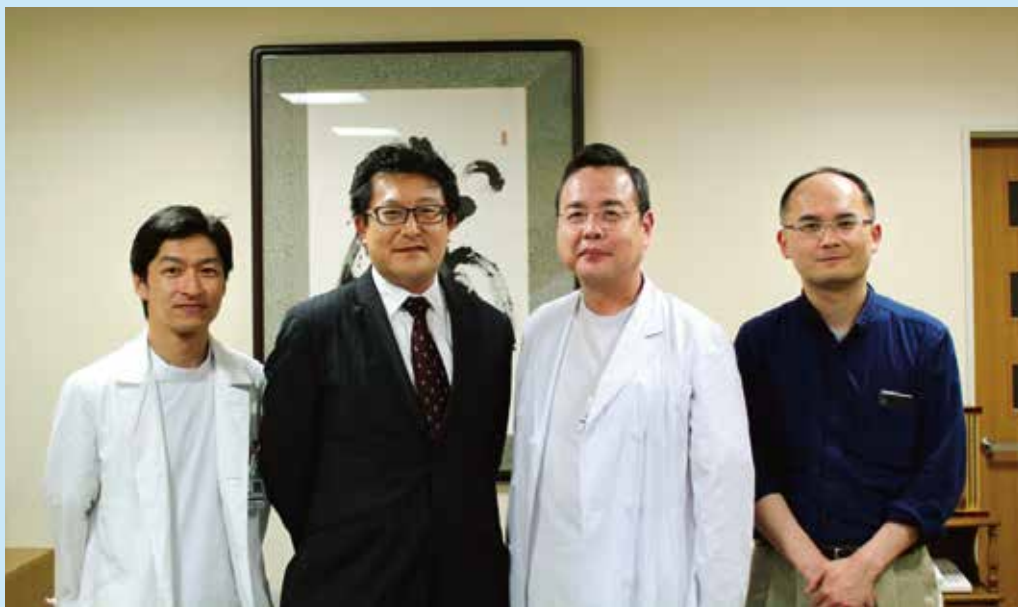


《地域のリウマチ医療、さらに充実をめざして!》

十全総合病院と道後温泉病院 リウマチ診療で連携

H29.5.11開設

当院は地域に根ざした病院として安心できる医療提供に努める事を基本方針とし、これまでも整形外科 仲田医師によるリウマチ外来を開設していますが、さらに内科的フォローを加えた診療を行う為、この程リウマチ専門病院でもある道後温泉病院 大西理事長と提携し、東予のリウマチ診療の拠点となるべく「リウマチ専門外来(道後温泉病院サテライト)」を開設いたしました。



当院
松尾医師

道後温泉病院
大西理事長

当院
中村院長

道後温泉病院
堤医師

道後温泉病院 大西理事長は、「この度の提携が形だけのものにならないようにすることが大切、まずは両病院の医師や医療スタッフが互いのリウマチ診療に理解を深め、顔の見える協力関係を築けてこそ、地域の患者さまに貢献できる」と語り、十全総合病院 松尾医師は「両病院の機能を融合し地域のリウマチ医療充実の為、さらに力を注ぎたい」と意気込みを語りました。

リウマチ専門外来(道後温泉病院サテライト)

毎月 第2木曜日 9:30 ~ 12:30(受付は12:00迄)

十全総合病院 院長 中村 寿
整形外科部長 松尾真嗣



家庭でできる感染対策

5月15日(月)午前10時～12時に、中萩公民館にて家庭でできる感染対策と題して、感染管理認定看護師・宮内雅文による院外講演が開催され、中萩自治会員17名が参加しました。

最初に感染の種類や感染経路について説明があり、感染症についての理解を深めました。

その後、家庭でできる感染経路を断つ方法として、正しいマスクの着け方や消毒液の作り方、手洗いの実技を行いました。

手の洗い方や実施時間、洗い残しが多くなる部分について指導をうけた参加者は、ブルーライトに照らされた自分達の洗い残しに驚きながらも、手洗いの重要性について学びました。

また、みんなが家庭でできる予防策について意見を出しあうなど、盛況のうちに終了しました。



認知症予防について

年1回開催されるシルバー人材センター定時総会の特別講演として「認知症予防について」リハレクしましよつと

と題して、リハビリテーション科主任・曾我部有司による院外講演が5月31日(水)午前11時30分より、文化センターにて開催されました。参加者は約300名ほどで、大ホールでの講演でした。

最初に「もの忘れ」と「認知症」の違いについて説明があり、認知症についての理解を深めました。

その後、懐かしい歌の「青い山脈」を全員で合唱し、認知症予防体操、早口言葉、後出しじゃんけん負けなど、頭と体を使ったレクリエーションが行われました。

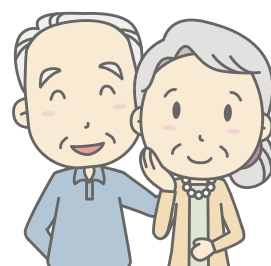
じゃんけんには勝つのではなく、後出しで負ける後出し



じゃんけん負けは難しく、参加者は失敗と笑いを繰り返しながら行っていました。

内々で悩みがちな家族など身近な人の認知症について、相談・受診できる機関についても紹介があり、受講者の参加者になりました。

最後は手拍子に合わせて全員で「おさむしや」を合唱し、盛況のうちに終了しました。



第22回 十全公開糖尿病 教室のお知らせ

日時 平成29年11月8日(水)

場所 十全総合病院

※詳細につきましては、栄養相談室・外来内科窓口(2F)までお問合せください。

※糖尿病の方、糖尿病を予防したい方、そのご家族やご近所の方、どなたでもお気軽にご参加ください。

十全看護専門学校 電話予約必要。先着30名

オープンキャンパス開催

在校生の生の声やアドバイスを聞けるチャンス!
実習場である病院で、看護体験ができます。

学習内容・行事・学校生活など、実際に自分の目や耳で確かめることが大切です。進学後の学習や学校生活についてわからないこと、何でも気軽にご相談ください。

開催日 7月15日(土) ※予約終了となりました
9月16日(土) 9時30分～14時 ※9時受付開始

内容 ●看護技術の演習 ●在校生とランチ&フリートーク
●十全総合病院の見学・看護体験 (ランチは学校で準備します)

申込期限 8月31日(木) 9月開催
保護者・高校の先生の同伴参加も可能です。定員になり次第締め切りとさせていただきます。

申込先 十全看護専門学校 愛媛県新居浜市北新町2-77
(0897)33-1723(月～金/9時～17時)



[理学療法学科・作業療法学科]

愛媛十全
医療学院

オープンキャンパス開催

「私の未来への決意」
これからの3年間でムダにしない。

日程 7月22日(土)、8月3日(日)、9月2日(土)、11月25日(土)
受付 12時30分～
開始 13時～ ※11月25日のみ受付9時30分～・開始10時～

オリジナル講義や療法体験(理学療法・作業療法)を中心に行います。施設見学では附属病院の見学もコースに含まれます。

理学療法士、作業療法士が患者さまを治療する姿を見学することができます。入試の動向、学院生活、国家試験等わからないことは先生や在校生に相談してみましよう。

参加申込 学院ホームページ/スマートフォンサイト/TELにてご予約ください。〒791-0385 愛媛県東温市南方561
HP <http://www.esm-juzen.ac.jp> TEL(089)966-4573



参加費・参加
申し込み不要

糖尿病教室のお知らせ

日時 毎週水曜日 午後2:00～

場所 外来棟3階 カンファレンスルーム

今年も暑い夏がやってきます。夏を快適に乗り切るために、もう一度糖尿病について考えてみませんか?

災害はいつやってくるかわかりません。いざという時あわないよう備えておきましょう!日頃、疑問点をおもちの方、もっと詳しい内容を知りたい方、どしどし参加してください。

食事、運動、薬について普段疑問に思っていることはありませんか?ぜひこの機会に解決してみたいかが、新しい発見があるかも!

開催日	内容	担当
7/5 (水)	糖尿病の原因を探ろう お薬ってどうやって効くの?	薬剤師
7/12 (水)	血糖値を測ってみよう 食事療法はどうしたらいいの? ～夏の食べ物・飲みもの～	臨床検査技師 管理栄養士
7/19 (水)	もっと知ってほしいフットケア 足を観察してみよう	形成外科医師 看護師
7/26 (水)	すごろくゲームで糖尿病を学ぼう	担当スタッフ

開催日	内容	担当
8/2 (水)	一病息災の道 災害時、食事の摂り方はどうすればいいの?	管理栄養士
8/9 (水)	体調が悪い時はどうすればいいの? 検査から自分の体を知ろう(血管の異常を見る)	看護師 臨床検査技師
8/16 (水)	災害が起こった時 ～エコノミー症候群の予防方法～	理学療法士
8/23 (水)	災害に備えて… ～普段から準備しておこう～ 薬・飲み物など、持ち物確認できますか?	看護師 (災害支援ナース) 薬剤師
8/30 (水)	心配なことやわからないことはどんなこと 食品交換表を見てみて、使ってみて	看護師 管理栄養士

開催日	内容	担当
9/6 (水)	しのびよる合併症 検査値の読み方・考え方	臨床検査技師
9/13 (水)	もう怖くない低血糖 ～正しい対処法を知ろう～ 嗜好食品は上手にとろう	看護師 管理栄養士
9/20 (水)	運動療法 簡単な方法を覚えて実践	理学療法士
9/27 (水)	カンパセーションマップ すごろくのような地図を囲んで、糖尿病の知識や体験を話し合い、糖尿病について楽しく学びます	担当スタッフ

どなたでもお気軽にご参加ください。お申し込みは不要です。 ※都合により内容が変更になる場合があります。

メディカルスクール 2017

参加費
無料

in 十全総合病院

実際の医療現場で行う実践型
医療体験セミナーです。

- ①検査機器を使った医療体験
- ②メス等を使った模擬手術体験
等



日時 9月23日(土) 8:30 ~ 15:30

場所 十全総合病院

対象 中学生・高校生

定員 25名(定員になり次第締切)

申込 8月1日(火)より受付

申込要領は7月下旬に当院のホームページに掲載いたします。

問合せ 十全総合病院 企画支援室 TEL(0897)33-1818(藤原)
HPアドレス <http://jyuzen.jp/>

病院敷地内 全面禁煙

トイレや人目につかないところでの喫煙は防火管理上も大変危険ですので、喫煙はくれぐれもご遠慮ください。皆様のご理解とご協力を、よろしく願いたします。 病院長

移動図書館 青い鳥号

来院予定日

7/ 5水・19水
8/ 2水・16水・30水
9/ 13水・27水

来院時間 午後3:10~3:50

お問い合わせは…

新居浜市立別子銅山記念図書館
TEL(0897)32-1911

◎悪天候や特殊な事情により、運行を中止することがあります。

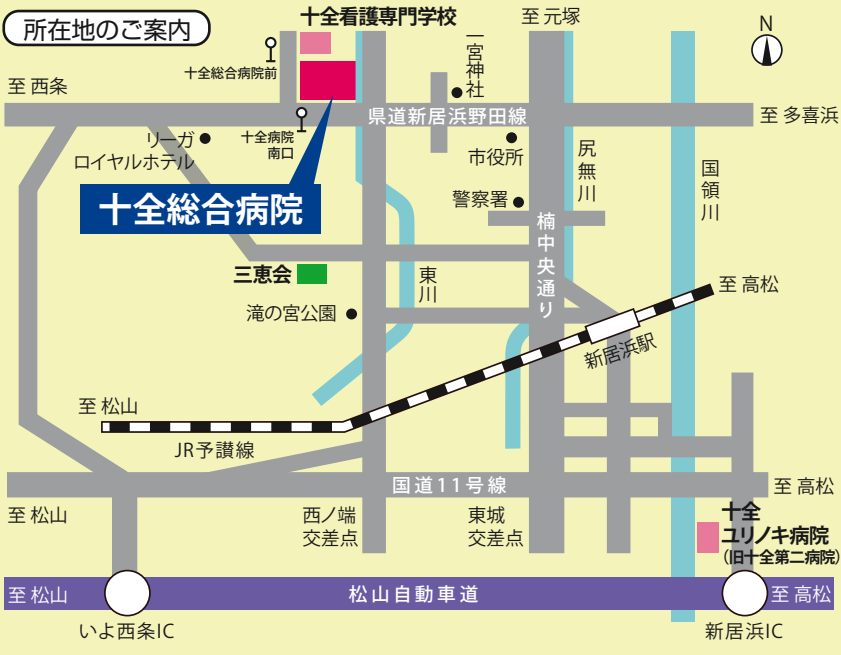
患者さまの権利

私たちは患者さまとのより良い信頼関係を築くため、「患者さまの権利」を尊重します。

1. 良質で安全な医療を平等にうける権利
1. 病気の診断・治療方針・今後の見込みについて十分な説明をうける権利
1. 他院を含め他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利
1. 自分が受ける医療に参加し自ら決定する権利
1. 診療上の個人のプライバシーについて保護される権利
1. 診療記録の開示を求める権利

患者さまの責務

1. 医師が説明し同意した治療方針に協力する義務があります。
1. 自分自身の健康に関する情報はできる限り正確にお伝えください。
1. 院内の規則を守り、他の患者さまの治療に支障を来さないよう協力をお願いします。



交通のご案内

- 《お車》新居浜ICから約20分、いよ西条ICから約20分
【駐車場完備 272台収容可能】
- 《バス》瀬戸内バス……「十全総合病院前(広瀬→多喜浜線)」下車
「十全病院南口(今治→マイントピア別子線)」下車
- 《JR》JR予讃線……新居浜(にいほま)駅下車、タクシーで約10分



一般財団法人 積善会

十全総合病院

〒792-8586 愛媛県新居浜市北新町1番5号
TEL(0897)33-1818 FAX(0897)37-2124

ホームページアドレス <http://jyuzen.jp/>

編集 広報誌編集活動委員会



未来が変わる。日本が変わる。
ストップ! 温暖化

医療・福祉 十全グループ

- 十全看護専門学校
あたたかい気持ちとあつい心をもった看護師の育成を図っています。
- 愛媛十全医療学院
理学療法士、作業療法士の育成
校是【博く学び、深く思い、厚く思いやる】
- 愛媛十全医療学院附属病院【内科・整形外科】
生活能力の回復と維持を図っています。
- 医療法人 十全会 十全ユリノキ病院(旧十全第二病院)【精神科】
あたたかい心、思いやりの心、私達は心の医療を推進します。
- 社会福祉法人 三恵会
子供から高齢者まで、幅広い世代へのお世話を行っています。
総合福祉施設 やすらぎの郷
介護老人福祉施設 ハートランド三恵
介護老人保健施設 リハビリステーション三恵荘
介護老人保健施設 希望の館
障害者支援施設 三恵ホーム
児童福祉施設 十全保育園
総合福祉館 コミュニティハウス三恵
福祉館 恵海
児童福祉施設 中萩保育園
養護老人ホーム 新居浜市立慈光園



環境負荷を抑えた植物油インキと適切に管理された森林から生産された紙を使用しています。